



仙台うみの杜水族館
SENDAI UMINO-MORI AQUARIUM

<報道資料>

報資—25—08

2025年10月

仙台うみの杜水族館

閉館から10年、新しい出会いから10年。



10年目の
Hello, Goodbye.
松島水族館展

【2025年11月1日（土）～11月24日（月・祝）】

海と人、水と人との、新しい「つながり」をうみだす水族館『仙台うみの杜水族館』では、開館10周年を記念して、企画展「10年目のHello, Goodbye. 松島水族館展」を、2025年11月1日（土）～11月24日（月・祝）に開催します。

長きにわたり、東北の皆さまに愛されてきたマリンピア松島水族館。

閉館から10年、そしてその生きものたちや飼育員たちの多くが引き継がれ、新しい命と想いを受け継いだ仙台うみの杜水族館が誕生して10年。

この二つの大切な節目に、あの頃の思い出をもう一度みんなで分かち合いたいという願いを込めて、仙台うみの杜水族館内に「手作りの小さな展示空間」を設けます。

本企画展では、マリンピア松島水族館で撮影された貴重な写真とそこに添える当時のエピソードを通じ、温かく振り返ります。仙台うみの杜水族館で現在も活躍する元マリンピア松島水族館スタッフが語るドキュメンタリー映像、そして来館者の皆さまからお寄せいただく思い出の写真とコメントが加わり、過去と現在が交差する、より心温まる空間を創出します。

本企画展は、仙台うみの杜水族館の10年間の様々な取り組みの中で生まれた、アートディレクターの高平大輔氏との出会いから実現するものです。

<この報道資料に関する報道関係各位のお問い合わせ>

仙台うみの杜水族館 中川・小畑・佐藤

TEL:022-355-2214 FAX:022-355-2225

kouhou@uminomori.jp

仙台うみの杜水族館HP <https://www.uminomori.jp>



仙台うみの杜水族館
SENDAI UMINO-MORI AQUARIUM



10年目の Hello, Goodbye. 松島水族館展

<企画展実施の背景>

1927年に開園した「松島水族館」を前身とし、半世紀以上にわたり地域に愛され続けてきたマリニピア松島水族館。東日本大震災の困難を乗り越え、2015年にその歴史に幕を閉じましたが、その存在は多くの人々の心に深く刻まれています。

そして、その年の7月、後を受け継ぐように「仙台うみの杜水族館」が開館。松島水族館で暮らしていた海の生きものたち、そしてスタッフたちも新しい水族館に移り、今もその場所で来館者を迎えています。

今回、仙台うみの杜水族館が開館10周年という大きな節目を迎えるにあたり、地域との絆を深めるべく、本企画展を企画しました。当館の10年の歩みの中で生まれたアートディレクター高平大輔氏との出会い、そして彼の「松島水族館の記憶を未来に繋ぎたい」という情熱が、この企画展実現の大きな原動力となりました。

あれから10年。マリニピア松島水族館が閉館して10年、仙台うみの杜水族館が開館して10年。ふたつの水族館がそれぞれの節目を迎えるこの年、松島水族館の記憶をたどり、未来へとつなぐ企画展「10年目のHello, Goodbye. 松島水族館展」を開催します。

アートディレクター 高平大輔氏

1978年福島県南相馬市出身。ロンドン・東京・仙台を拠点に活動する国際的なビジュアルスタジオ「WOW」でキャリアをスタート。東京と仙台でCMを中心に活動していたが、東日本大震災をきっかけに東北に根ざした制作活動を開始する。www.daisuketakahira.com

【コメント】

10年前に幕を閉じた松島水族館。

その思い出は、今も仙台うみの杜水族館へと続いています。

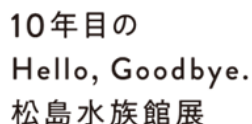
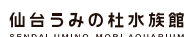
震災の年に生まれた娘を初めて連れて行った水族館が「松島水族館」でした。

疲れ切った心をそっと癒やしてくれた、あの場所のぬくもりを残したくて、有志の仲間とともに「Hello, Goodbye. 松島水族館」を立ち上げてから10年。

本展は、その想いに共感したクリエイターたちと、仙台うみの杜水族館のスタッフが協力して制作しました。

ふたつの水族館をゆるやかに結ぶ時間の流れを、感じていただければ幸いです。

ディレクター：高平大輔（Hello, Goodbye. 松島水族館）



2015年の閉館までの様子を写真で記録したファンサイト「Hello, Goodbye. 松島水族館」に掲載された写真を中心に展示します。また、元・松島水族館の社員や、かつて松島水族館に遊びに行っていた仙台うみの杜水族館のスタッフたちが選んだ“思い出の一枚”と、当時のエピソードを綴ったメッセージもあわせて紹介します。

Life Goes On

Hello, Goodbye.

10th Anniversary 松島水族館

モノレール
乗組員は人で
止めてかきましたね

松島水族館
Matsuyama Aquarium

サメテラから10年、
新しい出会いから10年。

同じ場所と同じく
よまうて大変でした

また食べたい!

WHO'S
THAT GIRL?
→

場所：2階 企画展示室



仙台うみの杜水族館
SENDAI UMINO-MORI AQUARIUM



10年目の Hello, Goodbye. 松島水族館展

■ 元・松島水族館の社員たちの声をあつめたドキュメンタリー映像 「In my Life」

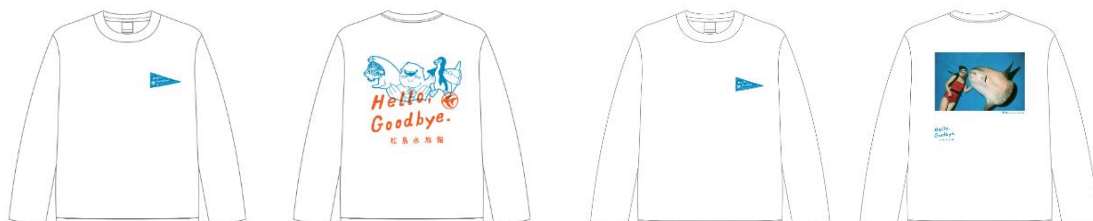
松島水族館での日常や仕事の思い出、個性豊かなイベントの日々、そして東日本大震災からわずか1ヶ月後に迎えた再オープンの記憶。小さくて古い水族館だったからこそ、「お客様を喜ばせたい」という想いのもとに、社員たちは“何でも自分たちでやる”という姿勢で日々を重ねていました。そんなエピソードの数々を、当時の社員へのインタビューを通じて映像でつづります。



場所：2階 企画展示室

■ オリジナルグッズ販売

10周年を記念して、松島水族館ゆかりのデザインをもとにしたオリジナルTシャツを制作・販売します。



販売場所：1階 umimorishop

企画制作：仙台うみの杜水族館スタッフ×「Hello, Goodbye. 松島水族館」制作チーム
協力：ANTWORKS、三恵商事株式会社&ダスキントール、株式会社金入